

<議論を踏まえた検討試案(科目構成)>

「社会教育総合実践演習」の新設・追加等、演習・実習の充実

「社会教育総合実践演習」を新設・追加

各科目で学んだ内容を有機的に統合できるようにするため、養成課程における全ての学びを振り返り、総括し、学生同士で知識・経験を共有する機会を充実。養成課程のみならず、大学全体の学びを通じて得られた専門性を活かし、社会教育の講座等、学びの場づくり等や地域づくり等を実際に企画できる実践力を育成

社会教育特講は幅広い科目から選択(現行と同じ)

現行の社会教育特講8単位を4単位とし、幅広い社会教育特講の科目から希望する科目を自由に選択(「社会教育総合実践演習」で科目を有機的に統合)

※教職課程において社会教育に関連性が高い科目を社会教育特講の科目として位置付けることなどにより併修を推進

「社会教育実習」(必修)を充実

社会教育を通じた地域課題の解決につながるような確かな学びとなるよう、事前・事後学習等を充実(実習期間の延長や実習先の多角化も考えられる)

変更案

現行

科目名	単位数
生涯学習概論	4
社会教育経営論	4
生涯学習支援論	4
社会教育特講	8
社会教育実習	1
社会教育演習・社会教育実習・社会教育課題研究(一科目以上)	3
合計	24



科目名	単位数	
生涯学習概論	4	
社会教育経営論	4	
生涯学習支援論	4	
社会教育特講	4	
社会教育実習※	2	
社会教育演習・社会教育実習・社会教育課題研究(一科目以上)	2	3
社会教育総合実践演習	2	1
合計	22	

※「社会教育実習」(必修)には事前・事後学習を含む



参考資料

期待される役割

社会教育主事

地域全体の 学びのオーガナイザー

＝社会教育行政の中核として、地域の社会教育行政の企画・実施及び専門的技術的な助言と指導に当たることを通じ、人々の自発的な学習活動を援助する役割

社会教育士

各分野の専門性を様々な場に活かす 学びのオーガナイザー

＝社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに関する活動に積極的に携わる役割

求められる能力及び知見

行政としての専門的知見(社会教育計画の策定、社会教育関係団体の育成、学習計画や学習内容の立案・編成に関わる知見など)

首長部局、民間企業、NPOなどの活躍の場において必要な各分野の専門的知見



社会教育における学びと実践の活動を推進するために必要な、

- ①人與人、組織と組織をつなぐコーディネート能力、
- ②人々の納得を引き出すプレゼンテーション能力、
- ③人々の力を引き出し、主体的な参画を促すファシリテーション能力

今後期待される
役割の方向性

地域における多様な主体による関連する取組全体を踏まえながら、社会教育人材のネットワークを活用しつつ、コーディネート能力やファシリテート能力等を発揮し、他分野の専門職と対等に協働しながら多様な分野と社会教育(行政)をつなぎ牽引する役割を担うことが期待される。

さらに、地域の社会教育人材ネットワークを構築・活性化する役割も担う。

各分野における専門性と社会教育の知見を活かしながら、様々な活動に社会教育としての学びの色彩を加える工夫を行ったり、また社会教育の手法を用いて活動を支援したりすることで、それぞれの分野の活動を活性化させたり、その意義を深めたりする活躍が期待される。

さらに、地域の社会教育人材ネットワークを活用することで、社会教育士によって地域の様々な取組がより効果的に推進されるようになることが期待される。

社会教育主事講習 見直しの全体像 (案)

社会教育主事の養成等の在り方に関する調査研究報告書 (平成28年8月)より

講習科目・テーマ

【生涯学習概論】

- 1.生涯学習の理念と施策
- 2.社会教育の意義と展開
- 3.生涯学習社会と家庭・学校・地域

【社会教育経営論】

- 1.社会教育行政と地域活性化
- 2.社会教育行政の経営戦略
- 3.学習課題の把握と広報戦略
- 4.社会教育における地域人材の育成
- 5.学習成果の評価と活用
- 6.社会教育を推進する地域ネットワークの形成
- 7.社会教育施設の経営戦略

【生涯学習支援論】

- 1.学習支援に関する教育理論
- 2.効果的な学習支援方法
- 3.学習プログラムの編成
- 4.参加型学習の実際とファシリテーション技法

【社会教育演習】

- 1.社会教育に関する実践演習
- 2.社会教育に関する現場体験

身につけるべき資質・能力

社会教育の視点から社会を見直し、新たな課題に対応する資質・能力を養成する。

【基礎基盤的な知識】

- ①生涯学習の意義と生涯学習社会の構築に関する知識
- ②社会教育の意義と特性に関する知識
- ③学校教育に関する知識 (「学校と地域の連携・協働の推進に関する知識」を含む)
- ④家庭教育に関する知識
- ⑤社会教育に関連する法律・答申に関する知識
- ⑥社会教育の内容・方法と指導者に関する知識

施策立案能力

- ⑦社会教育行政の戦略的・計画的展開に関する知識
- ⑧社会教育施設経営に関する知識・技術
- ⑨社会教育の諸計画・施策・事業の企画立案に関する知識・技術
- ⑩社会教育事業の評価実施に関する知識・技術
- ⑪社会教育事業の企画提案に関する知識・技術
- ⑫地域課題の解決に取り組む人材育成に関する知識・技術
- ⑬学習成果の認証・活用に関する知識・技術

把握・分析能力

- ⑭地域課題の把握・分析に関する知識・技術
- ⑮学習課題や学習要求の把握・分析に関する知識・技術
- ⑯教育資源の把握・分析に関する知識・技術
- ⑰広聴・広報に関する知識・技術

ネットワーク構築能力

- ⑱マルチステークホルダーとの連携・協働に関する知識・技術
- ⑲学校・家庭・地域の連携・協働に関する知識・技術
- ⑳社会教育の手法が有効な領域との連携・協働に関する知識・技術
- ㉑住民・団体等の組織化支援に関する知識・技術
- ㉒社会教育主事としてのリーダーシップに関する知識・技術
- ㉓社会教育を行う者への助言・指導に関する知識・技術

学習環境設計能力

- ㉔学習者の特性に関する知識・技術
- ㉕地域課題の学習課題化に関する知識・技術
- ㉖学習プログラムの企画立案に関する知識・技術
- ㉗学習の場の設計・展開に関する知識・技術

学習支援能力

- ㉘意識・行動変容を促す学習支援に関する知識・技術
- ㉙ワークショップによる学習支援に関する知識・技術
- ㉚ファシリテーションの基礎に関する知識・技術

【資質】
 ○人権感覚・意識
 ○コミュニケーションマインド
 ○幅広い視野、探求心、好奇心
 ○積極性
 ○共感性
 ○発想転換につながる柔軟性・独創性等

参加型、体験型等の学習を取り入れるなど、学習形態を工夫する。

ネットワークの構築
 関係者相互の連携・協働のネットワークとコーディネーションに関わる支援

社会教育主事の役割

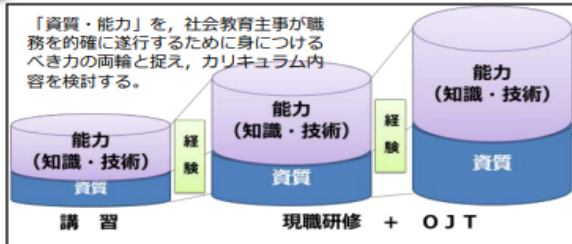
課題解決支援
 や組織化支援への対応
 ・住民間の意識共有支援
 ・住民の力の結集支援

個人の要望や
 社会の要請への対応
 ・知識・技術の習得支援
 ・意識・態度の変容支援

社会教育行政の機能

地域づくり
 住民が主体的に地域課題の解決や、地域づくりに向けた行動ができるよう、学びを通じて支援する。

人づくり
 住民が地域で主体的に教育・学習活動に取り組むことができるような環境を醸成し、個人の自立に向けた意識を高め、社会に参画する人材を育成する。



社会教育士に今後求められる専門的知識及び技術

○コーディネート能力・ファシリテーション能力・プレゼンテーション能力

- ・これらは必要な基盤とは思ふものの、スキルとして習得し、その場で自分の力を発揮するにとどまっている。求められるのは会議をうまく回す力ではなく、地域に入り、自らの経験を踏まえて人と人をつなぎ、新しい対話の場を生み出す力
- ・これらの能力は何のためにあるのか、一人一人の主体性を形成し、そこから協働をデザインしていくという冠があり、そのためにこれらの力が必要と明確に示さないとスキルが先走る印象
- ・これらの能力だけが社会教育士の専門性であると前面に出されると、首長部局における地域コミュニティ形成の中で、わざわざ社会教育士の称号がある人を活用する必要性を感じない
- ・この数十年、ファシリテーションの意味が変わってきており、表面的な進行・テクニカルな部分に収れんしたり進行の役割そのものを示す言葉のように使われたりしている。学習支援という社会教育の考え方を伴った方法論としてマインドセットし、技術・能力の考え方の原理を踏まえることが重要

○人権感覚・多様性への理解・社会的包摂

○コミュニティを形成する能力、民主主義と住民自治に関する専門性

○主体性を涵養する力、伴走支援

○地域課題・地域資源の把握、地域課題解決力

○チームビルディング

○評価・成果、PDCAに関する能力

養成課程の在り方

- ・養成課程の科目履修の自由度が低い。他学部科目から自分が興味・関心がある分野を学べると良い
- ・大学で学んだことを活かせる実践の場が欲しい。例えば、大学で学生対象の企画や公民館の講座を企画できる機会等があるとよい。例えば防災や学校教育など、養成課程の科目以外の学びをホームルームのような時間に持ち寄り、それらを実際に活かして企画する場があると、視野が広がり、活用の幅も広がって良い
- ・社会教育主事養成が前提となっていることに居心地の悪さを感じることもある。社会教育自体を学びたい学生も多くいる

社会教育主事講習で取り扱う内容



文部科学省

【社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令の施行について（平成30年2月28日生涯学習政策局長通知）】

科目名・単位数	目的	主な内容
生涯学習概論 〔2単位〕	生涯学習及び社会教育の本質について理解を図る	・生涯学習の理念と施策 ・社会教育の意義と展開 ・社会教育に関する法令 ・社会教育主事・社会教育指導者の役割 ・生涯学習社会と学校・家庭・地域 等
生涯学習支援論 〔2単位〕	学習者の多様な特性に応じた学習支援に関する知識及び技能の習得を図る	・学習支援に関する教育理論 ・効果的な学習支援方法 ・学習プログラムの編成 ・参加型学習の実際とファシリテーション技法 等
社会教育経営論 〔2単位〕	多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決や地域学校協働活動等につなげていくための知識及び技能の習得を図る	・社会教育行政と地域活性化 ・社会教育行政の経営戦略 ・学習課題の把握と広報戦略 ・社会教育における地域人材の育成 ・学習成果の評価と活用の実際 ・社会教育を推進する地域ネットワークの形成 ・社会教育施設の経営戦略 等
社会教育演習 〔2単位〕	社会教育主事の職務を遂行するために必要な資質及び能力の総合的かつ実践的な定着を図る	・社会教育に関する実践演習 ・社会教育に関する現場体験 等
合 計 8単位		

社会教育主事養成課程で取り扱う内容

(参考)



文部科学省

【社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令の施行について（平成30年2月28日生涯学習政策局長通知）】

科目名・単位数	目的	主な内容
生涯学習概論 〔4単位〕	生涯学習及び社会教育の本質について理解を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の理念と施策 ・社会教育の意義と展開 ・社会教育に関する法令 ・社会教育主事・社会教育指導者の役割 ・生涯学習社会と学校・家庭・地域等
生涯学習支援論 〔4単位〕	学習者の多様な特性に応じた学習支援に関する知識及び技能の習得を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援に関する教育理論 ・効果的な学習支援方法 ・学習プログラムの編成 ・参加型学習の実際とファシリテーション技法等
社会教育経営論 〔4単位〕	多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決や地域学校協働活動等につなげていくための知識及び技能の習得を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育行政と地域活性化 ・社会教育行政の経営戦略 ・学習課題の把握と広報戦略 ・社会教育における地域人材の育成 ・学習成果の評価と活用の実際 ・社会教育を推進する地域ネットワークの形成 ・社会教育施設の経営戦略等
社会教育特講 〔8単位〕	社会教育主事としての幅広い視野、社会的関心を持たせるとともに、専門的内容についての理解を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化と社会教育 ・情報化と社会教育 ・高齢化と社会教育 ・多文化共生と社会教育 ・社会的包摂と社会教育 ・健康教育と社会教育 ・防災・防犯と社会教育 ・人権教育と社会教育 ・同和問題と社会教育 ・環境問題と社会教育 ・青少年健全育成と社会教育 ・キャリア教育と社会教育 ・貧困問題と社会教育 ・家庭教育と社会教育 ・男女共同参画と社会教育 ・社会福祉と社会教育 ・特別支援教育と社会教育 ・消費者教育と社会教育 ・文化芸術と社会教育 ・文化財保護と社会教育 ・生涯スポーツと社会教育 ・地域の歴史文化と社会教育 ・地域産業と社会教育 ・ボランティア活動と社会教育等
社会教育実習 〔1単位〕	社会教育主事の職務を遂行するために必要な資質及び能力の総合的かつ実践的な定着を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設等における実習
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究 〔選択必修3単位〕		<ul style="list-style-type: none"> ・具体の地域課題等を題材とした社会教育事業の立案等に向けた演習 ・社会教育施設等における実習 ・社会教育の課題に関する研究等
合 計 24単位		